

第4回広島県水道企業団設立準備協議会

議事要旨

日 時：令和4年7月25日（月） 15:30～16:30

場 所：県庁本館6F 講堂

出席者：出席者名簿のとおり

1 議題

(1) 事業計画について

事業計画（案）について、資料1，資料2，資料3により，事務局が説明
質疑・応答はなし。

(2) 企業団規約について

企業団規約（案）について、資料4，資料5により，事務局が説明
質疑・応答はなし。

(3) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、資料6により，事務局が説明
質疑・応答はなし。

2 その他（全般的な質疑応答）

【江田島市】

- 江田島市においては、水道に関して管工事業協同組合というものがあり、市内の20の業者が加入している。水道事業に関連する工事、特に2,000万円未満の工事について、管工事業協同組合の業者の指名競争入札で行っている。広島県全体でいえば、一般競争入札が大原則だが、市内業者の育成という観点から、指名競争入札を継続して行っていただきたい。人口が減少していく中で頑張っている大事な業者なので、特段の御配慮をお願いしたい。

【企業団設立準備担当課長】

- それぞれの地域や地元にある管工事組合や建設業協会をはじめ、今後、地区別に丁寧な説明を行っていく準備を進めている。また、令和5年4月以降の当分の間は、現在の市町の入札契約制度のルールで業務を実施していく方針で準備を進めている。

【三原市】

- 三原市では、6月議員全員協議会において、企業団に参画する方向で進めていくと報告している。現在、9月議会への議案提出の準備や組合との労使交渉などを行っており、これからも丁寧に行っていく。今後も、皆様と連携を取りながら、企業団設立と事業開始に向けて、一緒に進めていきたい。

【知 事】

- 引き続き、企業団設立の手続きなど、各市町の状況にも配慮しながら、しっかりと準備を進めていく。

【府中市】

- マンパワーについて、企業団にお世話になることが多いと思っている。技術系の職員確保は、小さい自治体では今後難しいことが予想される中で、企業団に寄せる期待は大きいものがある。本部と事務所で十分に連携を取り、本部から府中事務所へ職員の派遣をしてもらう中で、事務所職員への指導もお願いしたいと思っている。

【知 事】

- 人員の件については、まさに大きな理由となっているので、各市町において御心配が無いように取り組んでいく。

【竹原市】

- 広島県における水道企業団ということで、県内すべての市町が参加する事業団であるべきと強く思っており、スタートは14市町であるが、すべての市町が参加できるよう、広島県においても、我々においても、今後しっかり取り組んでいきたい。

【知 事】

- 私も同様に考えている。市長会や町長会など、そういったところでの議論も含めて、皆様の力を借りながら、伝え続けていきたい。また、企業団における運営の実績というのも非常に重要となり、メリットがしっかりと生じていることを示していくことが大事になってくるので、事務局としても一丸となって取り組んでいく。

【三次市】

- 建設改良費について、今後10年間のシミュレーションにおいて、136億円程度の事業量が見込まれているが、これは現在の事業量の1.7倍に相当するということで、今後、事業を進捗するにあたって、本部のバックアップ体制というのが必要になってくる。企業団の統合効果を早期に発揮するという観点からも、計画に掲げている事業を着実に推進していただきたい。また、施設の再編整備を推進するにあたって、工事事業者に対し、水道工事への積極的な関与・参加を促していくなど、我々も最大限の努力をしていき、事業の進捗を上げるために後押しをお願いしたい。

【企業団設立準備担当課長】

- 事務所発注の工事については、現在の入札契約制度の下で、事務所で執行することを基本とするが、事業量に応じた執行体制の確保が必要である。また、DB方式の導入や発注単位の最適化など、業務の効率化もあわせて図っていく必要があると考えている。さらに、事務所で対応が困難な場合には、積算や設計、工事発注、施工管理、工事監督などの事務所が必要とする支援内容を聞いた上で、本部による必要なバックアップを実施していく。事業計画においても、そのような位置付けとした上で、施設整備を着実に実施していくこととしている。加えて、事業の実施に必要な、受注者の確保対策として、発注見通しの作成と公表、工事の平準化による年間を通じた安定的な工事発注に取り組むこととし、業者が企業団発注の工事に参加しやすいような環境づくりに努める。

【神石高原町】

- 神石高原町においても、6月議員全員協議会において、企業団に参画する意思表明をしており、9月議会への提案に向けて準備をしている。企業団全体の経営について、将来に向けてDXなどの新技術の導入を進め、経営全体の効率化や生産性の向上を図り、企業団に参画したメリットをしっかりと出していきたい。

【知事】

- 最終的な設立まで、しっかりとフォローしながら準備を進めていく。DXを含め、新技術の導入についても、大きな目的の1つであるので、これらについても取り組んでいく。

(以上)